

ふれあいひろば

36
第・号
37

2023年3月1日発行 発行者 四中地区市民委員会 文化広報部

四中地区：人口 23,816 人 男 11,866 人 女 11,950 人 世帯数 11,199 世帯 R5.1.1 現在



就任ご挨拶



指導員 久松 明

今年度四月より指導員として勤務している久松 明です。四中地区に勤務できることをとても嬉しく思っています。

私自身、四中の第二十五回卒業生であり、教員としても平成四年から十一年間勤務しました。チャレンジクラブ保護者の中にも、かつて教え子だった方もいます。教え子が大人になり、結婚し家庭を持ち、子どもを育てている姿を見ると、とても嬉しいです。

公民館は同級生や先輩後輩教え子やその保護者の方々に会える機会が多いので、とても懐かしく、ぜひ、声をかけて下さると嬉しいです。

専門部役員紹介

(敬称略)

福祉部

部長 為頭 れい子

副部長 菱沼 喜夫

副部長 丸山 都美子

安全部

部長 本田 章二

副部長 皆藤 修樹

副部長 中村 利夫

スポーツ健康部

部長 樋口 洋一

副部長 内藤 栄治

環境部

部長 松尾 安子

副部長 佐野 正枝

副部長 金子 愛子

文化広報部

部長 野口 貴代

副部長 岡田 孝之

副部長 今野 貴子

青少年育成部

部長 飯田 美恵子

副部長 菊地 敏子

まちづくりの実践を たたえる表彰

日時…令和四年八月二十三日(火)
場所…土浦市役所三階三〇一・三〇二

(敬称略)

〔個人の部〕

●関 孝則 (小松ヶ丘町)

―環境美化・防犯活動(七年間)―
町内防犯パトロール、桜南分会青色防犯パトロール活動に従事。特に小学校の登下校時の見守り・立哨・パトロール活動、毎月定期的に町内の夜間パトロールなどを積極的に実施して、町内の方々から感謝されている。また、公民館の除草作業や花苗を植え、環境美化に努めるなど地域住民の模範となっている。

●伏見宏明 (桜ヶ丘町)

―防犯・防災奉仕活動(十七年間)―
長年にわたり、町内防犯パトロール活動、自主防災活動に従事していることに加え、防災士としても近隣地域の防災活動に

従事している。また、地区内小中学校の登下校見守り、子ども会廃品回収時の見守り、地域の子どものサポートを自発的に実施、町内の方々から感謝されている。

〔団体の部〕

●国分町防犯パトロール隊

―防犯活動(十三年間)―
地域の防犯抑止と犯罪の起こりにくい町づくりのために国分町町内に居住する有志(令和四年二月現在三十八名)により六班を編成し毎週一回町内全域を徒歩でパトロールを実施。今後也有志を募り、継続していく予定で、住民から感謝されている。

●小松共栄会

―防犯活動(三十年間)―
小松共栄会として永年にわたり町内の防犯灯設置に協力し、互いに防犯対策を推進。また、防犯意識を共有し町内の暗がり対策を講じ、防犯対策に寄与しており、地域住民から感謝されている。

市の絵画作品 コンクール入賞者

日時…令和四年十月八日(土)
場所…茨城県県南生涯学習センター
―土浦市まちづくり市民会議主催―

(敬称略)

◆優秀賞

【下高津小】

小野良心、小室南奈(六年)、飯田稀子(五年)、高田彩桜(四年)、君山諒、岩田明香里(二年)

【土浦一小】

川田凌一(五年)

◆優良賞

【土浦四中】

島田麗未(八年)、井口紗佑里、中川椿喜(七年)

【下高津小】

長谷川寧々(六年)、中川葉月、仁平安南(三年)、平山ゆず佳(二年)、本麻みあら(一年)

【東小】

岡田琉夏(六年)

【土浦一小】

新井葉月(四年)、梅澤結莉嘉(三年)、華原語諾(二年)



チャレンジクラブ

チャレンジクラブ年間活動報告

指導員 久松 明

令和四年度は、十七名の児童生徒で活動しています。一人一人の子どもたちが、夢を持ち、何事にもチャレンジする姿勢を身につけ、成長してくれることを願い、年間十回の活動をしています。毎回、青少年育成部の方々にもご協力をいただいております。

五月 開講式・ジャグリング
六月 イバライド・牛久大仏
七月 おもしろ理科実験
八月 森林・林業体験
九月 座禅体験・JAXA

(表紙写真)

十月 テレビ朝日出前講座
十月 公民館祭り(中止)
十二月 エキスポ出前講座
一月 バランスボール
二月 モルックと閉講式
こもれび森のイバライドではハーバリウム作りにチャレンジしました。竹ひごを使い、様々

な可愛い花を瓶の中に入れ、バランスを整えてオイルを入れました。個々に工夫した素敵な作品を作ることができました。子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。

世界最大百二十mの牛久大仏では、胎内に入り、エレベーターで地上八十五mの展望台に昇りました。天候に恵まれ、とても眺めが良く、遠くの景色を存分に楽しむことができました。お猿のショーも全員で楽しく観覧しました。

おもしろ理科実験では、水の沸騰蒸気で紙製の船を動かすというテーマで、ポンポン船を作り、実際に走らせました。日本技術士会の方が八名も指導してくださいました。

水郷県民の森では、竹とんぼと木製プラントーを製作しました。直径十cm程の丸太切りにもチャレンジしました。

座禅体験では、約五十分の座禅を行い、自分自身を振り返る良い機会となりました。警策も全員が経験しました。

チャレンジクラブの思い出

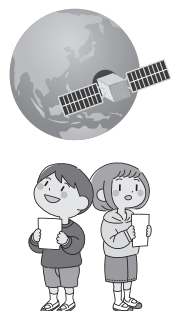
下高津小学校

4年 坂本 虹乃

私は、チャレンジクラブでの一年間を振り返ってみて、一番心に残ったことがあります。9月10日のJAXAに行ったことです。

その日は、チャレンジクラブの全員が出席していて、普段は入ることのできない部屋にも入ることができました。特に、展示館には大きなドーム状の地球があり、本物ではないけれどすごく立体的に再現されていて、びっくりしました。おみやげをかうところには、いっぱいのおみやげがあり、何を買おうか悩んでしまいました。

私は、チャレンジクラブに入って、たくさん友達と楽しい思い出ができました。また今度入る時には、もっとたくさん友達の友達を作りたいと思います。



文化広報部のお知らせ

—初めての試み—

今年度の広報紙は、市内他所の地区の広報紙がカラーであることを知り、我が地区でも、表紙裏表紙だけでもカラーで仕上げたいとなり、この度カラーで発行することになりました。

公民館まつりも、一昨年度、昨年度に続き、コロナ禍により中止となり、一月のニューイヤークンサートも同様中止とさせて頂きました。来年度は、今年度公民館まつりに実施しようと計画していました古本まつりの開催を予定しております。

つきましては、町内で何か出来事がありましたら、公民館または各町内の文化広報部員まで情報をお寄せください。

(野口 貴代)



令和四年度

四中地区スポーツ協会 活動報告

那珂 伸一

四中地区スポーツ協会主催のスポーツ行事は新型コロナ感染拡大の影響を受け、令和二年度三年度と二年間、一度も開催することができませんでした。

令和四年度に入り、ようやくスポーツ行事が開催できそうな環境となってきました。



そこでコロナ禍でも開催ができるように、新しい生活習慣に合わせた新種目も取り入れ、事業計画を立てました。

六月にグラウンドゴルフ大会、七月に新種目のボッチャ大会、十月にも新種目のモルック大会を開催するといった計画内容です。



行事復活のグラウンドゴルフ大会は、あいにくの天候不良で残念ながら開催することが出来ませんでした。

七月三日(日)にはボッチャ大会を四中体育館にて三十名の参加者をお迎えし、無事開催することができました。

ボッチャは東京パラリンピックでも話題となった、どなたでも楽しむことができるニュースポーツです。

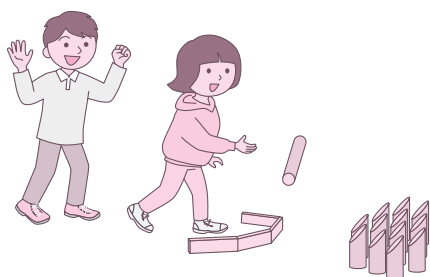
久しぶりとなる行事開催と初めての取り組み種目に、役員一同準備運営に苦戦したものの、参加された皆さんの笑顔を見ることで、スポーツを通じての絆づくりの大切さを改めて強く感じることができました。

そして十一月二十日(日)に、新種目のモルック大会を四中グラウンドにて開催しました。
モルックとは木の棒を木のピ

ンに向けて投げ、ちょうど五十点になると勝ちという、ボッチャ同様にゲーム性が高く、どなたでも楽しめるフィンランド発祥のスポーツです。

初めての種目でボッチャほどの知名度が無い種目でしたが、五十名もの方々にご参加いただき、最初はルールに戸惑いながらも、次第にゲームに慣れ、各コートから歓声が上がりました、大盛況の大会となりました。

四中地区スポーツ協会では今後もスポーツによる心とからだの健康づくりと、競技を通じての皆様の絆づくりのお役に立てますよう、今後も事業に取り組んでまいります。



『坊っちゃん』 夏目漱石著

(岩波文庫・新潮文庫など)

「親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている」という書き出しで始まる、漱石の短編小説である。文体は坊っちゃんの一人称の語り口である。歯切れのよさとアツと言わせる物語の展開は、痛快そのもので、このような展開は、近代文学の中でも特異である。

坊っちゃんは、向うつ気の強い、正義感の強い性格である。学校を出て、四国松山の中学校に赴任する。着任早々坊っちゃん、校長を「狸」、教育とは裏腹な態度を取る教頭を「赤シャツ」、「赤シャツ」におべっかを言う美術教師を「のだい」、会津出身の硬骨の数学教師を「山嵐」、英語の先生を「うらなり」とアダナを付ける。赤シャツ・のだいのなどの手合いはいつの世でもいるのだが……。宿直を命ぜられた坊っちゃんの寝床にイナゴを入れる事件がおきる。穏便に事をすましたい校長たち、きちんと生徒に対処し、学校の気風を改めんとする山嵐。事件は思わぬ方向に発展する。赤シャツに山嵐の悪口を吹き込まれ、信じた坊っちゃんは、赤シャツの陰險な性格を見抜き、山嵐と和解する。そして

中学校と師範学校の生徒の喧嘩の仲裁に入った山嵐と坊っちゃんは、新聞で叩かれ、山嵐は辞職する。山嵐に同調した坊っちゃんと山嵐は、赤シャツのだいを宿屋の前で待ち構えること数日。坊っちゃんに卵を投げつけられた「のだいこ」、両者にボカリと殴られた「赤シャツ」……。おかしい展開となる。誠に痛快きまりない。抱腹絶倒間違いなし。

わたしの
おすすめの本



「履歴なんかかまうものですか、履歴より義理が大切です。」(坊っちゃん)の発言
(栗原 亮)

(栗原 亮)

構図は、文部省の派遣する教育者に対する江戸っ子・会津連合軍。読み方は様々あるう。いびつな近代化を進める明治政府への揶揄とも読める。青春小説であるが、一抹の哀愁をただよわせている。今こそ、世に出よ、愛すべき正義の士、坊っちゃん。薦めたい一書である。

坊っちゃん語録を挙げよう。「無位無官でも一人前の独立した人間だ。独立した人間が頭を下げるのは百万両よりたつとい

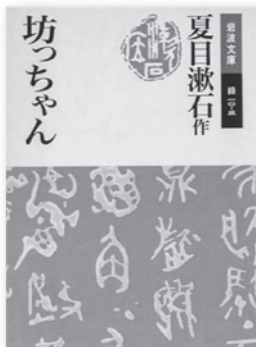
お礼と思わなければならない。」(坊っちゃんの発言)

「金や威力や理屈で人間の心が買えるものなら、高利貸でも巡査でも大学教授でもいちばん人に好かれなくてはならない。」(坊っちゃんの発言)

「教育の精神は単に学問を授けるばかりではない。高尚な、正直な、武士的な元気を鼓吹すると同時に、野卑な、軽躁な、暴慢な悪風を掃蕩するにあると思

います。」(山嵐の職員会議での発言)

(栗原 亮)



『シロガラス』 佐藤多佳子著

偕成社

白鳥神社のお神楽に選ばれた六人の子供たち。個性がぶつか

り合いながらながらも新しい人間関係を築いていく。そしてとても不思議な……。子供から大人まで幅広く楽しめるファンタジーです。シリーズ五巻まで

(栗野つる江)



『神様の御用人』 浅葉 なつ 著

メディアワークス文庫

神様からの無理難題の御用を承ることにになったフリーターの良彦は無給、持ち出しで東奔西走と走り回る事になる。モフモフの狐神と、手を差し延べてくれる友や神の力を借りて御用を勤め上げていく。日本人が忘れた信仰心が胸に沁みます。ご朱印集めのきっかけになりました。全十巻
(栗野つる江)



前期公民館講座

①初夏の寄せ植え

②筋膜リリースで
身体メンテナンス

③げんき！太極拳

④はじめてのヨガ

⑤ボードゲームを楽しもう

⑥将来に備える
ライフプランニング
人生設計について考えてみよう



お花について楽しく学ぶ



老若男女、体幹を鍛えて元気に！



みんなで楽しくコミュニケーション



筋膜のコリをほぐしてリラックス



自分の身体と向きあってみよう

後期公民館講座

①まゆクラフトをつくろう！

②大好評！筋膜リリースで
身体メンテナンス！

③冬のハンキング バスケット

④初心者限定！
はじめてのピアノ教室

⑤古地図の読み方 一入門編—
古地図の見方や活用方法の紹介

⑥光のモービル ヒンメリ

⑦親子で作る
クリスマスアイシングクッキー



まゆ玉で干支のうさぎ作り



寒さに負けない花を植え付け飾ろう



フィンランドの伝統装飾品を手作りで



コリをほぐして運動パフォーマンスアップ



まずは基礎から楽しくレッスン



可愛くデコレーション親子でクッキー作り

の二小情報

ボッチャ大会



10月30日に「二小地区ボッチャ大会」(主催…二小地区子ども連合会スポーツ委員会)が土浦第二小学校体育館にて開催されました。

三年目にして開催された大会は、感染症予防対策をしつつ、22チーム(子ども39人・大人6人)で優勝が競われました。初めてボッチャを体験する子ども達が大多数でしたが、上手にボールを的に近づけ、真剣に試合に挑んでいました。決勝戦では四年生チームが優勝、みんなが楽しいひと時を過ごすことができました。来年も開催、多くの方が参加されることを願います。

(小杉順子)

全日本合唱コンクール 全国大会 金賞受賞

「響け ハーモニー」

土浦第二小学校 井原 富美江
未だコロナ禍の中、感染症対策を取りながら、各種合唱コンクールが開催されました。

全日本合唱コンクールでは、大阪で行われた全国大会に出場し、金賞を得ました。また、NHKコンクール関東甲信越大会では、銅賞を得ました。さらには、TBS子ども音楽コンクールの東日本優秀演奏発表会にも出場するなど、日頃の子どもたちの頑張りが認められた年でした。

このように活躍できたのも、土浦市をはじめ、地域の皆様、PTAや保護者の皆様方の支えや応援があったからこそと、感謝申し上げます。



我が町紹介

みんなの小松通信

「小松町の情報が町内の皆さまに行き届いていない！」
このことが「みんなの小松通信」が誕生した理由です。小松はアパートが世帯の半分を占めています。



アパートには回覧板が回らないため、町内の活動が全く知らされていない状態でした。そこで町内の日頃の活動や町内会費の使用内容等を掲載し、皆さまに町内会を良く知って頂くことを目的としました。

今までに第三号まで発行していますが、その効果は目に見える形で出てきています。これからも、「住み良い・楽しい小松町」を目指して発行して参ります。

(今野貴子)

天川夏の安全祈願

コロナの蔓延により、天川も今年度の夏のお祭りが中止になりました。

子供たちによる山車の巡航や獅子舞いの代わりに、7月16日(土曜日)に、町内会三役と星友会の正・副会長2名が八坂神社へ伺い、安全祈願を行いました。

その後天川公民館では、道具の虫干しと練習を兼ねて、三密に注意しながら、星友会の有志により、お囃子と獅子舞を奉納しました。

良い天気とはならず、またわずかな時間ではありましたが、しばらくぶりに天川町内に笛と太鼓の音が流れました。

(原澤宏和)





第61回茨城県老人クラブ大会を受賞されました。土浦市四中地区高齢者クラブは、平成22年に結成されたクラブです。現在、14クラブあり、新型コロナウイルス感染症対策を講じて様々な活動をしております。コロナ禍



第61回茨城県老人クラブ大会が9月21日（水）水戸市（ザ・ヒロサワ・シティ会館）で開催され、令和4年度活動賞として、土浦市四中地区高齢者クラブ（会長 久保田至身氏）が、（公財）全国老人クラブ連合会会長表彰

【新着図書】

タイトル	著者	出版社
（芥川賞）おいしいご飯が食べられますように	高瀬 隼子	講談社
（直木賞）夜に星を放つ	窪 美澄	文藝春秋
ランチ酒 ランチ酒 おかわり日和	原田 ひ香	祥伝社文庫
運動未満で体はととのう	長島 康之	主婦の友社
阿佐ヶ谷姉妹 のほほんふたり暮らし	阿佐ヶ谷姉妹	幻冬舎
10歳から知っておきたい お金の心得	八木 陽子	えほんの杜
（本屋大賞）同志少女よ敵を撃て	逢坂 冬馬	早川書房
老害の人	内館 牧子	講談社
シーソーモンスター	伊坂幸太郎	中公文庫
死にがいを求めて 生きているの	朝井リョウ	中公文庫
medium 霊媒探偵城塚翡翠	相沢 沙呼	講談社文庫

【公民館図書室利用ガイド】

利用時間：9時～17時（月曜祝日等休館）

どなたでも自由にご利用いただけます。皆さまが気持ちよくご利用いただけるよう、感染症対策等のマナーを守ってご利用ください。本の貸出を希望する方は事務室横の貸出簿に記入してください。

お子様向けの絵本等もありますので、お気軽に遊びにきてください。

でも会員は一致団結してコロナウイルスと共存しながら事業を実施し、さらに新入会員も増加しています。

今後、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うことを期待したいと思います。

「活動賞 会長表彰」受賞おめでとうございます。

（松下恒正）

事務局より

新型コロナウイルス流行にともない公民館活動も下火の状態が続いています。

皆様からさまざまな意見を頂戴し、今年度の公民館まつりも中止となりましたが、令和5年度には、活動を活性化できればと思っています。

一刻も早く皆様の状況が改善

し、以前の賑わいを取り戻す一助となれば幸いです。

●職員紹介

館長（所長）	清水 剛
主幹	登坂 蘭
指導員	久松 明
社会福祉協議会	中根 一幸
窓口事務	里村 厚子
窓口事務	於本 園恵

編集後記

広報紙「ふれあいひろば」第36号37号の合併号の編集を皆様にご協力を頂き、無事に発行することができました。気がつけばコロナ禍四年目、日々更新される感染者数に一喜一憂する毎日です。今年度も殆どの活動が中止となり、そのため従来の掲載記事に加え、新企画の記事を掲載致しました。

本紙を通じて四中地区について知っていただき、地域の繋がりが深まる一助となれば幸いです。

お忙しい中、執筆にご協力頂きました皆様方にお礼申し上げます。

（石原恒人）